



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2009. 8月号

イブニングミュージアムウィーク

8月 18 19 20 21 22 23
火 水 木 金 土 日

夏

夜7時まで開館します

(入館は午後6時30分まで)

夏の特別展の開催に合わせて、6日間にわたって開館時間を延長します。

この期間に気軽に参加できるイベントも開催します。学校やお仕事の帰りに、夏休み最後の思い出に、ぜひ足をお運びください。

18日 「わたしが選んだ いわさきちひろ」朗読会

時間：午後7時～8時30分
場所：プラネタリウム
演者：雑貨団

18日 虫の声を聞こう

時間：午後6時～7時30分
場所：講堂・野外（雨天時中止）
講師：浜口哲一さん

19日 民家で聴く落語

時間：午後5時30分～6時30分
場所：相模の家
演者：楽志亭彦生さん
演目：「怪談牡丹燈籠」から
①お札はがし
②栗橋宿



20日 星を見る会 (雨天・曇天時中止)

時間：午後7時～8時30分
場所：科学教室・屋上

21日 草笛の夕べ～音を楽しもう～

時間：午後5時30分～6時30分
場所：博物館入口
演者：松永昭光さん

22日 いわさきちひろ 絵本と紙芝居を楽しむ会

時間：午後6時～6時30分
場所：相模の家
演者：大貫祐子さん他

科学実験体験教室
23日 「水ロケットを飛ばそう」

時間：午後5時～6時
場所：屋上（雨天時中止）

イブニングミュージアムウィークの行事はすべて自由参加です。事前の申し込みは必要ありません。

特別展のポイント

銀河分布構造模型

天動説か地動説か、宇宙の構成をめぐる争われたガリレオの時代から4世紀を経ました。今では、我らの主星太陽すら夜空に無数にきらめく恒星の中のひとつにすぎず、それらの恒星たちは銀河系という星の大集団を形成しており、さらにそうした大集団（銀河）が宇宙には無数に存在するという

ことに、もはや疑いをはさむ人はいません。
では、無数の銀河たちは、上下左右、どのような形で宇宙に散らばっているのでしょうか。

その解明に挑んだのがSDSS（スローン・デジタルスカイサーベイ）という観測です。銀河たちの宇宙はふくらみ続けており、証拠として遠い銀河ほど速い速度で我々から遠ざかっていることが知られています。SDSSでは、スペクトル観測からその後退速度、すなわち距離を求め、宇宙の立体マップを形成しようとしてきました。すでに100万個近い銀河の位置が測定され、データが公開されています。また観測は現在も継続されています。

観測された銀河は、均等に散らばるのではなく、泡のような空洞をはらんだ構造（ボイドつまり「泡」構造と呼ばれます）を持つことがわかりました。これらはしばしばコンピュータシミュレーションで表現されていますが、今回の特別展では、測定値に基づいた構造模型を製作しました（写真）。宇宙の中のおよそ5億光年ほどの範囲を切り取り、約3000個の銀河の分布を示しています。距離や角度を変えて眺めると、銀河たちが集中したり、連なったり、空洞を作ったりして分布しているのがよくわかります。

また、SDSS観測で使われたアルミの穿孔板（実物）も展示しました。広視野の2.5m望遠鏡に取り付けられ、目標天体の位置に合わせてあけられた穴から、光ファイバーケーブルを用いスペクトルの観測装置に光を送り込むためのものです。こうして一度になんと600以上の銀河を観測できる仕組みになっていました。



模型製作現場の苦闘
（ひとつひとつの銀河を手作業で配置しました）

特別展関連行事

◆サイエンス・カフェ

参加自由

東海大学の西嶋・河内・櫛田研、北林研、比田井研と利根川研の大学院生が宇宙の研究とその面白さを語り、疑問に答えます。

8月2日（日）、8日（土）、22日（土）、29日（土）
午後4時～午後5時

博物館3階 天文展示「星のひろば」

◆担当学芸員によるギャラリートークと実験ショー

8月中毎週水曜日開催 参加自由

8月5日 10:00～11:00

8月12、19、26日

10:00～11:00、15:00～16:00

◆特別展記念講演会

参加自由

8月30日（日）東海大学教授 比田井 昌英氏

午後3時30分～午後5時 プラネタリウム室

9月6日（日）東海大学物理学科准教授 河内 明子氏

午後3時30分～午後5時 プラネタリウム室

◆科学実験体験教室

参加自由

8月1日（土） 太陽の黒点とスペクトル

8月9日（日） 星座早見を作ろう

8月15日（土） 宇宙線の観察

8月23日（日） 水ロケットを飛ばそう

各回午後4時～午後5時

（23日のみ午後5時～午後6時）

科学教室・屋上等 参加自由

（材料等の都合により

30名程度で打ち切らせていただく場合があります）

◆雑貨団シアトリカルプラネタリウム演劇

事前申込

8月28日（金）

午後2時、午後7時 プラネタリウム室

※8月5日（水）から電話で参加申込受付開始

◆星を見る会「夏の星空に親しもう」

参加自由

8月6日（木）、13日（木）、20日（木）

午後7時～午後8時30分 博物館 屋上・科学教室

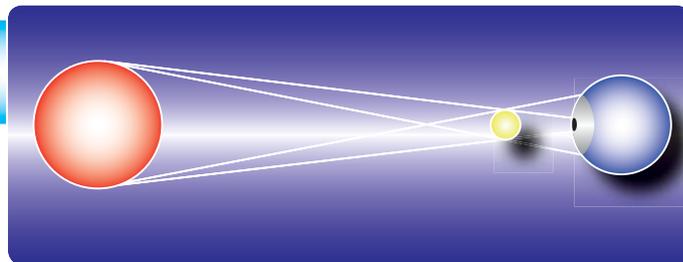
曇天・雨天中止

7・22 部分日食を観測

7月22日の日食はあいにく朝から雨、日食が始まる10時前になっても曇りのままでした。

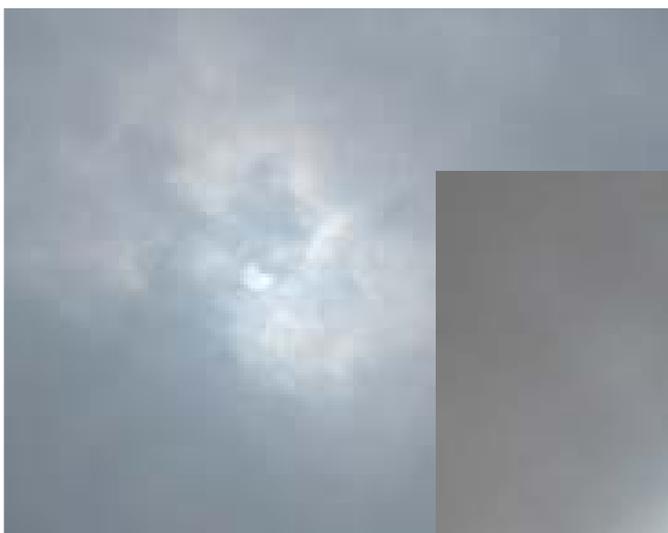
日食を見る会に参加された方々は天候にもめげず屋上で、わずかに雲間から顔をのぞかせる欠けていく太陽に歓声をあげていました。

太陽が一番欠けた11時前後には、あたりがちょっと



薄暗く感じ、また暑さもそれほど感じなくなっていたような変化もありました。これについては、小さな太陽電池で電圧を測り、確かめています。

期待していた日食観察が十分できない残念な思いと、多くの人たちとそれなりに一緒に体験できた充実感と、どっちが大きかったはなんとも言えませんが、それなりに楽しめた会でした。



10時20分



11時18分(天体観察会 水永氏撮影)

当日の博物館屋上は「日食を見る会」の参加者でにぎわいました



寄贈品コーナー

7月22日の皆既日食速報

8月1日(土)
～9月12日(土)

日本各地で観測された日食の模様を紹介します。 場所：展示室1F 寄贈品コーナー

| | | | |
|----|---|-----------------------------------|-----------|
| 1 | 土 | ☆ 寄贈品コーナー 「7月22日の皆既日食速報」～9月12日 | 寄贈品コーナー |
| | | ○ 自然教室「ビーチコーミング」 | 野外(講堂) |
| | | ○ 天体観察会 | 科学室 |
| 2 | 日 | ○ 科学実験体験教室 | 科学室 |
| | | 地質調査会 | 野外(雨:科学室) |
| | | 平塚の古代を学ぶ会 | 講堂 |
| 6 | 木 | ◎ サイエンス・カフェ | 星のひろば |
| | | ◎ いわさきちひろ絵本と紙芝居 | 相模の家 |
| | | ◎ 星を見る会「夏の星空に親しもう」 | 屋上・科学室 |
| 7 | 金 | 展示解説ボランティアの会 | 特研究室 |
| | | 古文書講読会 | 講堂 |
| | | 古代生活実験室 | 科学室 |
| 8 | 土 | 相模川の生い立ちを探る会 | 特研究室 |
| | | ◎ サイエンス・カフェ | 星のひろば |
| | | 天体観察会 | 科学室 |
| 9 | 日 | ◎ 科学実験体験教室 | 科学室 |
| | | ◎ いわさきちひろ絵本と紙芝居 | 相模の家 |
| | | ◎ 星を見る会「夏の星空に親しもう」 | 屋上・科学室 |
| 13 | 木 | 天体観察会 | 屋上・科学室 |
| | | ◎ 科学実験体験教室 | 科学室 |
| | | ◎ ろばたばなし | 相模の家 |
| 15 | 土 | ◎ 体験学習「火起こし道具づくりに挑戦」 | 科学室 |
| | | ◎ わたしが選んだいわさきちひろ朗読会 | プラネ |
| | | ◎ 虫の声を聞こう | 講堂・野外 |
| 19 | 水 | 民俗探訪会 | 特研究室 |
| | | ◎ 民家で聴く落語 | 相模の家 |
| | | ◎ いわさきちひろ絵本と紙芝居 | 相模の家 |
| 20 | 木 | 展示解説ボランティアの会 | 特研究室 |
| | | 天体観察会 | 屋上・科学室 |
| | | ◎ 星を見る会「夏の星空に親しもう」 | 屋上・科学室 |
| 21 | 金 | 古文書講読会 | 講堂 |
| | | ○ 体験学習「地模型を作ろう」 | 科学室 |
| | | ◎ 草笛の夕べ「音を楽しもう」 | 博物館入口 |
| 22 | 土 | 星まつりを調べる会 | 特研究室 |
| | | ○ 体験学習「縄文土器を作ろう」(子ども向) | 野外(雨天順延) |
| | | 地質調査会 | 特研究室 |
| 23 | 日 | ◎ サイエンス・カフェ | 星のひろば |
| | | ◎ いわさきちひろ絵本と紙芝居 | 相模の家 |
| | | ◎ 科学実験体験教室「水ロケットを飛ばそう」 | 屋上・科学室 |
| 25 | 火 | ○ 体験学習「地模型を作ろう」 | 科学室 |
| | | ◎ いわさきちひろ絵本よみかき | 相模の家 |
| | | 石仏を調べる会 | 特研究室 |
| 27 | 木 | 古文書講読会 | 講堂 |
| | | ○ 雑貨団シアトリカルプラネタリウム演劇 | プラネ |
| | | お囃子研究会 | 講堂 |
| 28 | 金 | 地域史研究ゼミ | 特研究室 |
| | | 平塚の空襲と戦災を記録する会 | 特研究室 |
| | | ◎ サイエンス・カフェ | 星のひろば |
| 29 | 土 | ◎ 特別展記念講演会 | プラネ |
| | | ◎ 特別展記念講演会 | プラネ |
| | | ◎ 特別展記念講演会 | プラネ |

| | | | |
|----|---|---|---------------|
| 3 | 木 | 展示解説ボランティアの会 | 講堂 |
| 4 | 金 | 古文書講読会 | 講堂 |
| 5 | 土 | ☆ プラネタリウム 「フリートーク・プラネタリウム」 ～9月27日まで | プラネ |
| | | 地質調査会 | 野外(雨:科学室) |
| 6 | 日 | 水辺の染校生きもの調べの会 | 野外 |
| 9 | 水 | 博物館実習(～9/16) | 館内 |
| 10 | 木 | 石仏を調べる会 | 館外・上吉沢 |
| | | 裏打ちの会(博物館実習) | 科学室 |
| 11 | 金 | 古文書講読会 | 講堂 |
| 12 | 土 | 天体観察会 | 屋上・科学室 |
| 13 | 日 | 地質調査会 | 科学室 |
| | | 平塚の古代を学ぶ会 | 講堂 |
| 16 | 水 | 博物館学実習反省会 | 講堂 |
| 17 | 木 | ☆ 寄贈品コーナー「博物館実習生の展示」 ～10月29日 | 寄贈品コーナー |
| | | 展示解説ボランティアの会 | 講堂 |
| 18 | 金 | 古文書講読会 | 講堂 |
| 19 | 土 | 古代生活実験室 | 科学室 |
| | | 星まつりを調べる会 | 野外・特研究室 |
| 20 | 日 | ◎ ろばたばなし | 相模の家 |
| | | ◎ プラネタリウムで宇宙を学ぶ会 | プラネ |
| 24 | 木 | 石仏を調べる会 | 特研究室 |
| 25 | 金 | 古文書講読会 | 講堂 |
| | | お囃子研究会 | 講堂 |
| | | 地域史研究ゼミ | 特研究室 |
| 26 | 土 | 平塚の空襲と戦災を記録する会 | 特研究室 |
| | | 相模川の生い立ちを探る会 | 館外・西桂町(雨:科学室) |

プラネタリウム一般投影

「HAYABUSA -BACK TO THE EARTH-」

数々の困難に立ち向かい、太陽系誕生の謎をさぐる「はやぶさ」の波乱と感動に満ちた探検の旅が、臨場感あふれるCGでドームいっぱいに広がります。

投影日: 7月23日(木)から8月30日(日)までの

水・木・土・日曜日 午前11時、午後2時

観覧料: 100円(中学生以下無料)

「フリートーク・プラネタリウム」

解説者によって日替わりの話題をお届けする「お楽しみ」プラネタリウム。

投影日: 9月5日(土)から9月27日(日)までの

土・日曜日 午前11時、午後2時

観覧料: 100円(中学生以下無料)

体験学習「地模型を作ろう」参加者募集

厚紙をつみ重ねて地形模型を作ります。

日時: 8月21日(金)、8月25日(火)

午前10時～午後4時

場所: 科学教室

対象: 小学生(4年生以上)～中学生 ※両日とも参加できる方

申込: 往復はがきに住所・氏名・電話番号を記して申込み。

8月10日必着。

定員: 15人(多数の場合抽選)

費用: 実費(2000円程度予定)

いわさきちひろ絵本と紙芝居を民家で楽しむ会

民家のいろりばたでいわさきちひろの絵本の朗読を聞いてみませんか。

日時: 8月の木曜日(6、13、20、27日)

午後3時～

場所: 展示室1F 民家

参加: 自由

☆: 展示、プラネタリウム ○: 申込制 ◎: 自由参加 無印: 年間会員制

寄贈品コーナー

「7月22日の皆既日食速報」

日本各地で観測された日食の模様をを紹介します。

日時: 8月1日(土)～9月12日(土)

場所: 展示室1F 寄贈品コーナー

「博物館実習生の展示」

学芸員資格取得を目指す学生たちが、一週間にわたる実習の総仕上げとして行なった展示です。

日時: 9月17日(木)～10月29日(木)

場所: 展示室1F 寄贈品コーナー

あなたと博物館 37巻5号 通算392号 発行 平塚市博物館 2250

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949

E-Mail: info07@hirahaku.jp ホームページ http://www.hirahaku.jp/